

議 事 録

会議名	釧路市障がい者自立支援協議会 第1回 全体会	
事務局	釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター	
開催日時	令和4年6月30日(木) 15:00~16:30	
開催場所	釧路市総合福祉センター 1階大ホール	
出席者	委員	出席者 18名 戸田会長(北海道教育大学釧路校)、横山氏(釧路のぞみ協会)、和泉氏(はしどいワークラボりれいと)、池田氏(釧路市児童発達支援センター)、高橋氏(鶴が丘学園)、佐藤氏(市立釧路総合病院)、酒田氏(中小企業家同友会)、畑山氏(釧路身体障害者福祉協会)、佐藤氏(釧路手をつなぐ育成会)、鎌田氏(釧路肢体不自由児者父母の会)、橋本氏(北海道難病連釧路支部)、壁谷氏(釧路保健所)、三浦氏(釧路総合振興局保健環境部社会福祉課)、細川氏(白糠学園)、星氏(釧路市民生委員児童委員協議会)、高瀬氏(釧路市社会福祉協議会)、今村氏(釧路市連合町内会)、小池氏(釧路市障がい福祉課) (敬称略) 議事録担当: 細野
	その他	
	傍聴者	釧路総合振興局保健環境部 社会福祉課 柳谷氏
	事務局	出席7名 障がい福祉課: 清水課長補佐、辻野専門員、小林専門員、鈴木主査 釧路市障がい者基幹相談支援センター: 金子、近藤、細野 (敬称略)
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障がい福祉課長挨拶 釧路市福祉部障がい福祉課長 小池 伸治 2. 委員紹介 3. 会長選出 4. 会長挨拶 5. 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度の役員体制について (2) 釧路市障がい者自立支援協議会の開催について (3) 釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の状況について (4) 相談支援体制について (5) 障がい者地域生活支援拠点等整備事業について (6) 令和4年度 障がい福祉課主要事業について (7) 障がい福祉サービス等ニーズ調査の結果について (8) その他 6. 閉 会 	

議 事 内 容

1 障がい福祉課長挨拶

釧路市福祉部障がい福祉課長 小池 伸治

2 委員紹介

3 会長選出

○事務局より

- ・全体会会長選出について委員に意見を求めたところ、「事務局一任」との意見があったため、戸田竜也委員を提案し、委員より承認を得た。また、副会長は、戸田会長が高瀬勝洋委員を指名し、委員の承認を得た。

4 会長挨拶

釧路市障がい者自立支援協議会 全体会会長 戸田竜也氏

5 議事

進行：全体会会長 戸田竜也氏

(1) 令和4年度の役員体制について

○事務局より

- ・資料1「釧路市障がい者自立支援協議会全体会委員名簿」、資料2「令和4年度釧路市障がい者自立支援協議会役員名簿」、資料3「釧路市障がい者自立支援協議会設置要綱」、資料4「釧路市障がい者自立支援協議会組織図」を説明。

○委員からの質疑及び意見

- ・なし

(2) 釧路市障がい者自立支援協議会の開催について

○事務局より

- ・資料5「令和4年度釧路市障がい者自立支援協議会スケジュール」を説明。

○委員からの質疑及び意見

- ・なし

(3) 釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の状況について

○和泉運営会長より

- ・資料6「令和4年度釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の活動状況」に基づき、運営会の活動状況を報告。

○各専門部会長からの補足

- ・なし

○委員からの質疑及び意見

議 事 内 容

・なし

○池田定例会副議長より

・資料6「令和4年度釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の活動状況」に基づき、定例会の活動状況を報告。

○委員からの質疑及び意見

・なし

(4) 相談支援体制について

○事務局より

・資料7「基幹相談支援センターの内容変更（案）」、資料8「委託相談事業の内容変更（案）」を説明。

○委員からの質疑及び意見

- ・基幹相談支援センターの変更による市内の各事業所の反応が気になる。
- ・基幹相談支援センターには福祉向上のために頑張ってもらいたい。
- ・基幹相談支援センターの実績報告は、全体会で行うのか。
⇒事務局より) そのように考えている。

(5) 障がい者地域生活支援拠点等事業について

○事務局より

- ・資料9「釧路市障がい者地域生活支援拠点等事業の報告について」を説明。
- ・前回の全体会で、重度の知的障がい者で一人暮らしをしている人数について質問があったが、療育手帳A判定の方で、単身生活をしている方は1～2名程度いると推測される。

○委員からの質疑及び意見

- ・親が子どもを手放せないという課題がある。自分が元気なうちは面倒をみれると思ってしまう。
- ・高齢福祉分野は、ネットワークの構築や情報の周知が当事者や家族以外にも広くなされているように感じる。一方、障がい福祉分野は、当事者や家族への情報の周知にとどまっており、進んでいない印象。ネットワークの構築やワンストップの在り方も考えていく必要がある。
- ・入所施設を希望する方は、すぐに入れる状況なのか。
⇒事務局より) 多くの待機者がいるため、すぐに入ることができる状況にはない。
- ・入所施設を希望している方は、グループホーム等の対象にはならないのか。
⇒事務局より) グループホームでの受け入れが可能な方もいる。また、グループホームに入居している方が、今後を見据えて入所施設の待機になっている方もいる。

(6) 令和4年度障がい福祉課主要事業について

○事務局より

資料10「令和4年度障がい福祉課主要事業」を説明。

○委員からの質疑及び意見

- ・「障がい者工賃確保推進事業」の決算について知りたい。

議 事 内 容

⇒事務局より) 道路の保全、土嚢製作、施設の修繕を実施し、予算は概ね執行している。

(7) 障害福祉サービス等ニーズ調査の結果について

○事務局より

資料1 1 「障害福祉サービス等ニーズ調査結果報告書(概要版)」を説明。

○委員からの質疑及び意見

- ・アンケートの実施について、周知の方法および範囲はどうなっているのか。
⇒事務局より) 医療的ケア児・者におけるアンケートは、対象者に郵送にて送付。回答はWebにて行うが、Webが難しい場合は、聞き取りを行った。
- ・医療的ケア児・者アンケートの結果を見ると、子どもの回答が多く、成人の回答が少ないのではないかと。
⇒事務局) 障がい福祉課で把握している医療的ケアを必要としている方の名簿から調査を実施した。
- ・当事者間であまりアンケートについて話題にならなかった。新聞等で事前にアンケートの実施について周知しても良いのではないかと。
- ・親が子どもを手放せない現実がある。拠点事業も対象者が狭い。親が安心する状況になっていない。いざという時に制度が使えないと感じる。
- ・早い段階で支援を実行に移さないと救えるものも救えない。障がい者の意思決定は大切であるが、そこだけに捉われると何もできない。
- ・災害時の障害者の避難や対応について聞きたい。
⇒事務局) 避難行動要支援者名簿があり、各課で連携している状況。なお、福祉部でも災害時の対応が重要と考えており、対応について検討しているところ。
- ・災害時の対応について、行政が全てを担うのは難しい。各地域で災害における対応等の検討が必要である。
- ・施設入所をしている方の日中活動が制限されていることに課題を感じている。
- ・医療的ケア児の災害時の対応に関し、市立釧路総合病院と釧路赤十字病院では各家族にシートを渡してケアの内容を記載してもらっている。シートがあれば、災害時にかかりつけではない病院でもシートをもとにケアすることができる。

(8) その他

なし

以上